

1 単 元 なぞなぞあそび

2 教科の目標

「なぞなぞ あそび」の言葉のつながりのおもしろさを楽しみ、進んで答えを考えたり、読んだりしようとする。(関心・意欲・態度)

3 ICT活用の観点

興味・関心を高める提示

4 活用したICT

プロジェクタ ノート型コンピュータ

5 ICT活用のポイント

プロジェクタで画像を大きく提示することで、視覚的にとらえやすくすることができ、子どもたちの興味・関心を高めることができると考えた。

6 実践の様子

「なぞなぞ あそび」を音読してから、なぞなぞに取り組んだ。学級で行うなぞなぞ大会では、一人一問ずつ野菜についてのなぞなぞを発表することを伝えた。

はじめに、なぞなぞづくりに取り組んだ。なぞなぞあそびのプリントに形や色、様子など、観点別に野菜の特徴をまとめ、それを基になぞなぞを考えていった。(資料①)

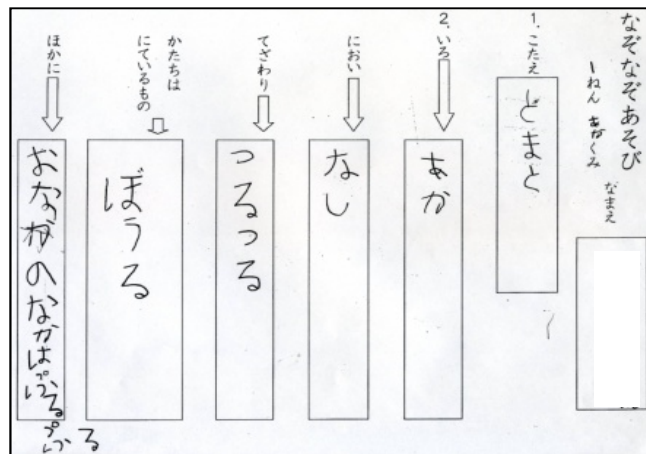
なぞなぞ大会では、野菜の画像を提示しながら、答えを確認するようにした。「おなかのなかはぶるぶる」というヒントで答えにたどり着いた時には、提示されたトマトの画像を見て、「あー、ほんとだ、ぶるぶるしてる。」と楽しそうになぞなぞ大会に取り組むことができた。(資料②)

また、アボカドや紫キャベツなどの馴染みのない野菜の画像が提示されたときには、「これのことか。」「ぼくも知ってるよ。」と安心してなぞなぞ大会に取り組むことができた。

なぞなぞ大会後、子どもたちからは「発表してみたら、楽しかった。」「またやりたい。」という意見が聞かれ、楽しみながら、なぞなぞ大会に取り組むことができた。

7 成果と課題

- 野菜の画像を提示したことで、なぞなぞに学級全体で取り組むことができ、興味をもってなぞなぞ大会に取り組むことができた。
- 画像を拡大したり、指し示したりすることで伝えたかった野菜の特徴をわかりやすく伝えることができた。
- 提示する画像を教師が用意したが、子ども自身が伝えたいことに焦点を当てて画像を選ぶことができるようにしていきたい。



資料① なぞなぞ大会プリント



資料② ヒントになった言葉を振り返る